

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫
「御殿場アウトレットにあった資産運用のヒント」

★★

御殿場のプレミアムアウトレットに行ってきました。近くに見える富士山や人気のげんこつハンバーグも良かったのですが、290店舗ある国内最大のアウトレットを歩き回って一番印象に残ったのは、欧米ブランドの退潮でした。

英国調もフレンチモードもクラシコイタリヤも、そしてアメリカン・トラッドもカジュアルも、もうその時代はとっくに去ったようです。バーバリーの苦境、モエヘネシー・ルイヴィトンの人気の離散や、ブルックス・ブラザーズの破綻、ナイキブームの終焉に至るまで、お客の入りからはっきりと見て取れました。欧米はこの先、経済も株価もこのような低迷期に入る予感がしました。

フランスの経済学者・思想家であるジャック・アタリは、近著「世界の取扱説明書」(プレジデント社)で、次のような興味深い予測をしています。「インドの影響力の強まりと地球温暖化の影響から、インドの伝統民族衣装が世界的に流行する」。

これは30年後の予測ですが、世界経済の中心は産業革命を契機に19世紀から始まった「グローバルノース」の時代から、その前に1800年間続いた「グローバルサウス」の時代へ戻っていくのが自然の流れのようです。

猛暑が続いたこの夏、私はほとんど毎日インド亜大陸に伝わる手紡ぎ、手織り綿布や伝統染などの布、また原種コットンを素材に使った夏服で過ごしました。そのきっかけは、奈良の若草山麓にある ([CALICO キヤリコ:インド手仕事布の世界 \(calicoindia.jp\)](http://calicoindia.jp)) という店の商品との出会いでした。その手織り布の着心地と味わい深い伝統柄で、私は長い間忘れていた肌触りの悦びと豊かな衣服の文化を日常に取りもどしました。

世界の株式市場も、今までのAIや半導体等のフッション性が強いテーマ株に踊らされた展開から、インドという強固な経済基盤に加えて、古代文明が生んだ美しい不変のスタイルを有する国の株式に、投資家の期待は高まるでしょう。今回の御殿場アウトレットは、資産運用の大きなヒントになりました。

<御殿場プレミアムアウトレット>

